科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電子情報4年	科目コード	47011150
科目名	日本文学　Japanese Literature				
担当教員	戸谷　精三				
単位数（時間数）	必選　前期　1単位　（30時間）	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	日本文学の営みの中で独自性を創出し，その時代・社会を超えて後世に継承された文学作品について学習することを通して，日本文学作品の理解に努める． 藤原定家が撰修したとされる，「小倉百人一首」の歌人や和歌が詠じられた背景などについて基礎的な解釈を進める．				
先修科目	国語III				
後修科目					
備考					

	授業項目	時間	内容
1	「小倉百人一首」概説	2	・撰修した藤原定家や，「小倉百人一首」成立年代など基本的知識の理解に努めることができる．
2	勅撰和歌集概説	4	・「小倉百人一首」が入集している勅撰集に関する，基本的事項の理解に努めることができる．
3	古今集以前の歌人の作品	4	・古今集が編纂される以前に文学史に登場する歌人と，その作品について興味を持つことができる．
4	《三代集》時代の歌人の作品	１０	・いわゆる《三代集》が編纂された時代に活躍する歌人とその作品に興味を持つことができる．
5	後拾遺集以後の歌人の作品	１０	・勅撰集の撰者の和歌について，理解を深めることができる．
6			・女流歌人の和歌について興味を持ち，作品の解釈に努めることができる．
7			・歌会，歌合など，和歌が詠まれた契機や経緯について理解を深めることができる．
8	課題①　「古今和歌集」		「古今和歌集」の成立などについて調べるとともに、「恋」の歌を鑑賞するよう努める。
9	課題②　「和歌をよむ」		「小倉百人一首」の中から、一首選んで、詠作歌人や入集した勅撰集などについてまとめることができる。

学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	興味ある和歌について参考文献を用いて解釈することを通して，和歌が詠まれた契機や経緯，歌人についての理解に努め，論述することができる． このような内容を身につけることでA-1の達成と認定する．
成績評価	課題はレポート様式で作成する．課題①（40%）,課題②（40%），授業における学習活動（20%）を総合して100点満点で評価して，達成度が60点以上の履修者に単位を認定する．授業における学習活動は，授業中に学習する課題等で評価する。
教材	井上宗雄　『百人一首を楽しくよむ』（笠間書院）　佐伯梅友『例解古語辞典　第三版』（三省堂）　時代別国語辞典　室町時代編（三省堂）
オフィスアワー	12：00～12：50，管理・一般科棟３F国語教員室　この時間にとらわれずに必要に応じて来室してください．